

2014年度自己点検・評価報告書(シート)

【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	法学部
大項目	5 学生の受け入れ
中項目	
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 各種入試ごとに学生受入方針(アドミッション・ポリシー)を策定する。	→ 「入試形態と受入方針策定済みの入試形態」	A	A	A	A	A
2. 各種入試の追跡調査・分析を行い、またその一環として学科別入試の追跡調査と分析を行う。	→ 「追跡調査の項目を設定し分析する責任組織の有無」、「追跡調査・分析の進捗状況・結果の報告書」	C	C	B	B	B
3. 追跡調査の結果や教員の負担を考慮して、最適な入学者選抜方法と各募集人員に関する構想を作成する。	→ 「検討組織の有無」、「入試方法・募集定員に関する構想の有無」	D	C	B	B	B
4. 各種入試の追跡調査の結果をふまえて、一般入試による入学者比率の引き下げ目標を設定する。	→ 「学部・学科の志願者・合格者・入学者の推移(大学基礎データ)」、「一般入試・各種入試の適切な入学者比率に関する目標の有無」	D	C	B	B	B

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	A	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 指定校・協定校・高等学校の各推薦入試以外については、2010年6月以降、『入試ガイド 空の翼』や大学ホームページ(学部入試情報サイトや法学部サイト)上で、学生の受け入れ方針を公表している。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 入学者の多数が『入試ガイド 空の翼』や大学ホームページに記載された事項に目を通し、その主旨を了解した上で入学している。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か このような体制を継続することが求められる。</p> <p>その他</p>	☆
目標2	B	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 一般入試のほか、AO入試、スポーツ選抜入試、高等部推薦、指定校・協定校推薦、帰国生徒入試など、多様な選抜方法を採用している。さらに、2014年度入試(2013年度実施)からは、グローバル入試を実施している。また、2013年度においても、2010年度、2011年度、2012年度に引き続き、入試検討委員会で、追跡調査に基づきながら、指定校推薦に関わる指定校先の選定等の見直し・検討を行っている。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 教授会で追跡調査、指定校等の見直しについて確認することが求められる。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後も、追跡調査を行ったうえで、指定校推薦に関わる指定校先の選定等の見直し・検討を行うことが必要である。</p> <p>その他</p>	☆
目標3	B	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 2012年度入試(2011年度実施)から、スポーツ選抜入試を導入し、入学者の学力確認のための筆記試験を実施している。さらに、2014年度入試(2013年度実施)から、グローバル入試を実施している。入試制度のあり方については、入試検討委員会や入試実行小委員会で入試実施後に検証を行い、教授会で適宜検討している。なお、収容定員に対する在籍数比率は、2009年度では110.2%であったが、同年度以降はこれを下回っており、2013年度ならびに2014年度には105.4%へと減少した。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 追跡調査により、各入試毎の入学者の成績分布が把握できるようになった。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 入試制度のあり方については、今後も、入試検討委員会や入試実行小委員会等で入試実施後に検証を行うことが必要である。</p> <p>その他</p>	☆
目標4	B	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 入学者に占める一般入試入学者の比率を段階的に50%(当面は60%)まで引き下げるとした2009年度設定の目標について、2010年度入試(2009年度実施)において65.7%、2011年度入試(2010年度実施)において59.9%、2012年度入試(2011年度実施)において55.3%と推移し、2013年度入試(2012年度実施)では若干の上昇があり58.2%となったが、2014年度入試(2013年度実施)では55.0%となり、2009年度入試(2008年度実施)の70.9%と比較して比率の引き下げが着実に進捗しており、当面の目標60%を達成している。しかし、最終的な目標値である50%には未達である。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 2009年度入試以降、着実に目標値に近づいている。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 引き続き目標値に近づけるために尽力することが求められる。</p> <p>その他</p>	☆
備考			☆

《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【法学部】		単位	2010	2011	2012	2013	2014	備考
指標1	入学定員	名	680	680	680	680	680	
指標2	志願者総数	人	5,791	5,182	4,779	5,027	5,007	
指標3	合格者数	名	1,902	1,991	1,950	1,816	1,790	
指標4	入学者数	名	654	626	691	701	664	
指標5	志願者倍率	倍	8.5	7.6	7.0	7.4	7.4	志願者÷入学定員
指標6	入学定員に対する入学者数比率(5年間平均)	倍	1.03	1.00	1.00	1.01	0.98	
指標7	入学者に占める一般入試入学者の比率	%	65.7%	59.9%	55.3%	58.2%	55.0%	一般入試入学者数÷入学者数 (注)一般入試にセンター入試を含む
指標8	収容定員	名	2,690	2,720	2,720	2,720	2,720	
指標9	在籍学生数	名	2,917	2,837	2,916	2,866	2,867	
指標10	収容定員に対する在籍学生数比率	%	108.4%	104.3%	107.2%	105.4%	105.4%	在籍学生数÷収容定員
指標11	編入学生数	名	(25)	(16)	(14)	(14)	(8)	編入学定員がない学部でも、編入学生がいれば記入する。※その場合は()で記入
指標12	編入学定員	名	—	—	—	—	—	
指標13	編入学定員に対する編入学生数比率	%	—	—	—	—	—	
指標14	学部・学科ごとの退学者数	名	41	41	44			

※指標11…編入学定員を持たない学部の編入学生数は()で記入